

価値提供の

思

考

中小企業の生存戦略

第2回 SDGsの利活用①

○：経営戦略は一言で定事業で競争優位性を持つ表現すると「環境変化に続く期間がそう長く対する適応パターン」でない。しかし、抽象的なある。製品やサービスの環境変化を肌身でとらえライフサイクルが短命化することは難しく、直接的に感知したときには、すでに危機を

の時点で未然に検知し、対応を図りたい。

では、具体的にどうするべきか。方法の一つに現在の環境変化の可能性を示す指針であるSDG

Sは、世界で起こっているさまざまな問題を解決するための持続可能な取り組み

に起るべき問題がある。SDG上で、CSR(企業の社会利益に不可欠な考え方を採り、自社内でさえもこれからの先の新規事業を

環境変化を示す指標

中小企業に生きるSDGs

に危機を前に、国連加盟国の責任をアップデー迎えているが2030年までに達成可能な目標と、169のターゲットで構成された将来の世界における

の「変化の潮流」だ。すなわち、今だけでなく将来の世代まで考えた取り

の「変化」が2030年までに達成可能な目標と、169のターゲットで構成された将来の世界における

の「変化」が2030年までに達成可能な目標と、169のターゲットで構成された将来の世界における

の「変化」が2030年までに達成可能な目標と、169のターゲットで構成された将来の世界における

の「変化」が2030年までに達成可能な目標と、169のターゲットで構成された将来の世界における

の「変化」が2030年までに達成可能な目標と、169のターゲットで構成された将来の世界における

の「変化」が2030年までに達成可能な目標と、169のターゲットで構成された将来の世界における



三枝国際特許事務所

中小企業
診断士

柚木 正人氏

のを目的に活用方法は、将来世代ま

次回(4月27日掲載予定)は、SDGsが掲げる具体的な目標とブランディングについて触れる